

附 錄

大正七年度福井縣學事狀況

總 說

大正七年度ニ於テ掌理シタル教育事務ノ梗概ヲ叙述スレハ小學教育ニ在リテハ從來ノ如ク就學及出席ノ督勵ニ力メ以テ教育ノ普及徹底ヲ期シ師範其ノ他中等教育等ニ在リテモ各其ノ趣旨ニ依リ益成績ヲ擧グルコトニ意ヲ注キ殊ニ理化教授ノ刷新改良ヲ圖ル爲臨時縣費ヲ支出シ各校ニ實驗室ヲ建設シ專ラ實驗觀察ニ重キヲ置クコト、シ客年來工事ニ著手シタルカ本年度ニ於テ略完成セリ小學校ニ於テモ同シク實驗觀察ニ重キヲ置キ之ニ對スル施設ノ獎勵ニ意ヲ入ラシ實業教育ニ在リテハ敦賀町立商業學校ヲ縣立ニ變更セシト實業補習學校ノ併合ヲ行ヒ盡ニ定メタル設置標準ニ適ヒ專任ノ教員ヲ置キ年額三百圓以上ノ豫算ヲ有スルモノニハ縣費ヲ以テ補助スルコト、シ總額二千五百餘圓ヲ補助セリ又小學校教員ノ自發的研究獎勵ノ爲各都市小學校教員會ノ部會ヘ縣費ヲ以テ補助シタルモノ四十部會ニ及ヘリ

又小學校教科調査委員ヲ中學校教員ニ囑託シテ中等教育ト小學教育トノ連絡及振興方法ヲ調査シ體育ニ關シテハ專任ノ教科調査委員ヲ設ケ小學校教員ニ體操科ノ講習ヲ爲シ且指導セリ

又大正七年末人口靜態調査ノ精確ヲ圖ル爲公簿ヲ整理シ實際ト一致セシメタルニ依リ隨テ學齡兒童ニ就テモ及フヘク實際ト符合セシメントナ期シ市町村ヲシテ勉テ之カ整理ヲ爲サシメタリ

學 齡 兒 童

學齡兒童ノ總數ハ男五萬九千九百五十三人女五萬五千七百六十一人ニシテ其ノ内就學ノ始期ニ達シタル者男五萬四千四百七十七人女四萬八千二百一人ナリ即チ就學ノ歩合ハ男九十九人四分七厘女九十八人八分九厘平均九十九人一分九厘ニシテ前年ニ比シ男三厘平均一厘ヲ増シタリ兒童就學ニ關シテハ法令ニ依リ之ヲ督責シ或ハ教育會學齡兒童保護會等ノ事業トシテ貧窮兒童ニ對シ食費若ハ學用品ヲ給與食與シタルモノアリ又本縣教育資金中ヨリ金員ヲ交附シテ補助獎勵セリ

小 學 校

學校設置廢止並設備 學校ハ尋常百三十、尋常高等百五十三、高等一ニシテ外ニ分教場百二十四アリ之ヲ前年ニ比スルニ尋常二十二、分教場四ヲ減シ尋常高等十八ヲ増シタリ設備ニ於テハ各學校殆ト完成セザルモノナク教授上管理上支障ナシ

學級 尋常千七百九十七、高等二百二十八ニシテ前年ニ比シ尋常五十、高等十九ヲ増シタリ

二部教授 校舍營繕ノ爲一時二部教授ヲ爲シタルモノアリ

補習科加設科目 高等補習科ヲ置クモノ一アリ又加設科目ヲ課スル學校尋常百三十二、分教場五十九、高等百三十九アリ

授業料 尋常小學校ニ於テ授業料ヲ徵收スルモノ福井市八校、敦賀町三校アルノミナルモ高等小學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スルモノ百三十九校アリ

教員 本科正教員ハ男千二百五十三人女四百二十五人計千六百七十八人ニシテ學級總數二千二十五ニ比スルトキハ三百四十

七人ノ不足ナリ是ハ准教員代用教員ヲ以テ補充ス、

俸給 本年度ヨリ國庫費ヲ以テ其ノ幾分ヲ交附セラル、コト、ナリシニ因リ何レノ市町村ニ於テモ俸給額ヲ増額シタルカ其ノ増額方法ハ辭令ヲ用キスシテ改正令ニ依リ支給スルコト、ナリシナリ又十一月ヨリ以降ハ縣下ヲ通シテ一割五分ノ臨時手當ヲ給與セリ

教員勤続年數ヲ觀ルニ三十年以上六人、二十五年以上三十四人、二十年以上五十三人、十五年以上百七十二人、十年以上二百八十一人、五年以上四百二十九人ナリ

幼 稚 園

幼稚園ハ市立一、町立一、私立七アリ前年ニ比シ私立ニ増シタリ市立順化幼稚園ハ福井市順化尋常小學校内ニ町立小濱幼稚園ハ遠敷郡小濱町ノ寺院内ニ設ケラル其ノ他私立七幼稚園モ亦寺院境内又ハ基督教會構内等ニ設ケラル其ノ設備ハ概シテ完全ナリ教科目ハ遊戲唱歌談話手技恩物等ニシテ植物細工、泥土細工ヲ加フルモノアリ

盲 啞 學 校

私立聾啞學校ハ吉田郡東島村大和田眞宗僧侶廣岡善壽ナル者ノ設立ニ係リ校舍寄宿舎ヲ有シ生徒九人ヲ收容シテ二人ノ教員ヲシテ教授ヲ爲サシム學校維持ノ方法トシテハ設立者ニ於テ負擔シ多少篤志家ノ寄附及補助金ニ待ツノ狀況ナリ生徒失官ノ原因ハ皆先天的ナリ

福井訓盲學舎ハ私立福井縣教育會カ盲人教育ノ爲施設スル所ニシテ日本十字社支部内ノ一棟ヲ借受ケ點字、按摩、生理、衛生、修身、國語、算術、歴史、地理、理科、體操ヲ授業ス修業年限四年ナリ本年ハ卒業者ヲ出サス生徒失官ノ原因ヲ掲ケレハ次ノ如シ

	男	女		男	女
營養 不 良	4	2	淋 疾	—	1
麻 天 梅 毒	3	—	ト ラ フ ー ム	1	—
先 天 的 失 明	—	2	先 天 的 失 明	1	1
火 藥 外 傷	1	—	負 傷	1	—

福井縣師範學校

學校ノ設備 敷地一萬三千三百二十五坪七合一勺建家三千百八十二坪三合九勺農業實習地ニ通スル橋梁一箇所十五坪二合ヲ有シ外ニ農業實習用借地(民地)田二百九十九坪畑千六百五十二坪樹木實習用借地(本縣模範林)一萬八千坪アリ即チ本年度ニ於テ新設シタルモノ理化學教室三棟百五十六坪五合廊下一棟七坪ナリ圖書器械標本類ハ漸次之ヲ購入スルヲ以テ管理上教授上支障ヲ見ス

有資格教員ノ務員免許狀ヲ受得シタル事由別 有資格教員ハ總テ二十五人ニシテ男專任二十二人、女專任三人皆教諭ナリ今教員免許狀ヲ受得シタル事由ヲ掲ケレハ次ノ如シ

東京高等師範學校修身教育專修科卒業
同 地理歴史專修科卒業

1
1

同	本科博物學部卒業	1
同	本科地理歴史部卒業	2
同	國語漢文專修科卒業	1
同	本科數物化學部卒業	2
同	本科英語部卒業	2
同	體操專修科卒業	2
東京美術學校	圖畫師範科卒業	1
農業教員養成所	卒業	2
東京音樂學校	甲種師範學科卒業	1
東京私立國學院	大學師範部卒業	1
日本體育會	體操學校高等科卒業	1
其他試驗檢定		4

以上 男子 二十二名

東京女子高等師範學校	技藝科卒業	1
同	本科理科卒業	1
試驗檢定		1

以上 女子 三名

生徒訓育 生徒ヲシテ從來國民教育ノ重任ヲ負フヘキヲ自覺セシムルコトヲ勉メ柔道遠足戶外運動合同體操ヲ獎勵シテ身體ノ鍛鍊ヲ圖リ奢侈懦弱ヲ戒メ學友互ニ切磋シ自治共同ニ意ヲ注カシメ殊ニ女生徒ニ就テハ實質勤勵ノ風ヲ養ハシメンコトヲ勉メ女子ノ特長ヲ發揮スヘキ學科及作業ニ關シテ力ヲ須マタルコト從來ノ如シ

歐洲動亂ニ基因セル國民思想界ノ變調及我國ノ從來ニ對スル國民ノ覺悟ニ關シテハ教育上注意ヲ要スルモノアルヲ以テ諸學科教授ノ際常ニ適當ナル指導ヲ與フルノミナラス時々講堂訓話ヲ行ヒ生徒ヲ諷告スルコトヲ意ラサリキ

生徒學業ノ進否 男女生徒何レモ前年ニ比シ進歩シ成績ヲ示セリ今生徒得點數ヲ掲グレハ次ノ如シ

	大正六年度		大正七年度	
	男	女	男	女
本科第一部	76.7	78.4	78.3	79.5
本科第二部	74.4	-	78.0	79.0

生徒修學旅行 本年度ニ於テモ生徒各自ノ私費ヲ以テ修學旅行ヲ爲シタリ例ニ依リ出發ニ先チ觀察研究ノ指導ヲ行ヒ歸校後成績ヲ報告セシメタリ其ノ旅行ノ種類日數ヲ掲グレハ次ノ如シ

管外旅行

	人員	旅行地	日數
第四學年 男	37	東京地方	10
第三學年 男	32	石川縣地方	4
第三學年 女	33	金澤市地方	3
第四學年 女	33	京阪地方	6
參觀旅行			
第四學年 男	18	三方郡遠敷郡	4
第四學年 男	17	大野郡	4
第四學年 女	15	敦賀郡以西	4
第四學年 女	17	南條郡敦賀郡	4
第二部男 甲	30	坂井郡	4
第二部男 乙	19	坂井郡	4

講習科第二學年	15	丹生郡今立郡	4
登山旅行			
第三學年 男	80	石川縣白山	7
第二部 男			
水泳旅行			
登山者以外男	160	坂井郡米ヶ脇	10
臨海教育			
女生徒全部	180	敦賀郡杉津	7
遠足旅行			
近郊數里ノ處へ半日若ハ一日ヲ費シテ旅行シタルコト三回アリ			

入學者父兄ノ職業別次ノ如シ

	農業		工業		商業		庶業		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
本科第一部	30	8	1	3	-	7	9	22	40	40
本科第二部	43	9	-	2	1	4	8	14	52	29
總計	73	17	1	5	1	11	17	36	92	69

卒業者就職 本年度卒業者中本科第一部男子一人ハ東京高等商業學校ニ同女子一人ハ東京女子高等師範學校ニ入學シ其ノ他ハ小學校教員ニ就職セリ

附屬小學校 本學年間ニ於ケル兒童ノ教養教生ノ指導ニ關スル狀況左ノ如シ

兒童ノ教養 前年來ノ方針ヲ踏襲シ尙教授訓練養護等何レモ多少ノ改正ヲ爲シ實績ノ觀ルヘキモ尠ナカラス

教生ノ指導 練習セシ教生及時間左ノ如シ

第一學期	第一部男生	三十五名
第二學期	第一部女生	三十三名
第三學期	第二部男生	五十名
	講習科男生	十七名

以上一學級ノ配當人員四人若ハ三人ナルヲ以テ一週練習時間三時間乃至六時間ニ過キサルノ狀況ナレハ隨テ練習不十分ヲ免レス殊ニ女子教育實習生ニ對スル設備ハ著シク不足ナルノ感アリ

尙縣下各都市トノ聯絡ニ關シテハ益々親密ナラシムルコトニ勉メ第一學期中算術體方體操ノ公開授業ヲ行ヒ改善意見ヲ發表シ第二學期中ニハ縣下聯合教授法研究會ヲ開催シ唱歌ニ關スル著實ナル研究ヲ遂ケタリ又各郡ノ招聘ニ應シ職員ヲ出張セシメタルコト十一回ニ及ヘリ

代用附屬小學校 明治四十四年度ヨリ吉田郡圓山西村立道明尋常小學校(福井市接壤地ニ在リ)ヲ代用附屬小學校ト爲シ年々經費ヲ以テ補助セリ大正七年度ニ於ケル補助額ハ四百六十圓ニシテ三百六十圓ヲ教員俸給三百圓ヲ其ノ他ノ諸費ニ充テシメタリ兒童教養等ニ關シテハ附屬小學校ノ方針ト同シキモ尙校下實際ノ狀況ニ鑑ミ之ニ應シテ施設シタルモノアルハ從來ニ異ナラス

講習科 尋常小學校本科正教員養成ノ爲ニ設クル男子講習科ハ生徒十七名ヲ有シ皆本年度ニ於テ卒業セリ而シテ本年度中新ニ生徒ヲ募集シタルモノナシ

本科第二部 本年度ニ於テモ中學校高等女學校卒業生ノ外修業年限四箇年ノ甲種農業學校卒業者ヲ入學セシメ卒業ノ後小學

校農業科教員及農業補習學校教員ヲラシムルノ方法ヲ實行シ卒業者十九人ヲ出シタリ

以上ノ外本年度文部省開設ノ中等學校教員講習會數學英語家事商業理科ニ各一人ノ教諭ヲ出席セシメ又文部省ニ於ケル小學校教員講習會音樂科ノ職員一人、第九師團體操教練講習會ニ職員一人ヲ出席セシメタリ其ノ他縣下各地ニ於ケル各種ノ會合ニ教員ヲ派遣シ講話若ハ實地授業研究等ヲ行ハセタルモノ、教員會二十四回教育會八回青年會七回軍隊一回ニシテ體操科ノ指導ヲ爲シタルモノノ數十回ニ及ヘリ

中 學 校

學校ノ設備 中學校ハ縣立四校私立一校ニシテ前年ノ如クナルモ本年度二月二十七日私立北陸中學校偶ク火ヲ失シ校舍本館及附屬建物其ノ他器械器具圖書標本等烏有ニ歸シ又三月十八日縣立福井中學校火ヲ出シ校舍舊館新館生徒控所厨銃器室地理歷史室小使室物置所二箇所ノ九棟ノ建物ハ祝融ノ奪フ所トナリ餘ス所門衛所文庫寄宿舎二、食堂、炊事場、寄宿舎物置、洗面所、浴場、寄宿舎厨及新ニ建築セラレタル理化教室ヲ併セ十二棟ニ過キス從前尙且武道場ノ設備ナク講堂教室等ノ狹隘ヲ感シタルニ今ヤ此ノ殘存建物ニ於テ教授スルノ已メヲ得サルニ至リ不便言フヘカラス器械標本圖書類ノ燒失亦少ナカラス授業上ノ支障多シ北陸中學校ニ於テモ亦然リトス縣立大野武生小濱ノ三中學校ニ於テハ何レモ理化實驗室ヲ新築シ圖書器械標本類ヲ購入補充セルヲ以テ管理教授支障無シ有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ總テ八十五人ニシテ專任八十人兼任四人外ニ休職一人アリ其ノ教員免許狀ヲ受得シタリ事由ヲ掲ケレバ次ノ如シ

	縣立中學校				私立北陸中學校	合計
	福井	大野	武生	小濱		
東京帝國大學文科大學卒業	1	2	兼 3	1	兼 1	7
東京帝國大學理科大學簡易講習科卒業	—	—	—	—	兼 1	2
京都帝國大學文科大學史學科選科卒業	1	—	—	1	—	2
京都帝國大學文科大學卒業	—	—	—	1	—	1
東京高等師範學校卒業	兼 2	2	4	2	兼 1	11
廣島高等師範學校卒業	—	1	—	1	—	2
第一臨時教員養成所卒業	—	—	—	2	—	2
東京外國語學校卒業	2	—	—	—	—	2
東京美術學校卒業	1	1	1	1	1	5
私立國學院大學卒業	—	2	—	—	—	2
私立東京物理學校卒業	—	—	—	—	兼 1	1
私立早稻田大學卒業	—	—	—	2	—	2
私立日本大學高等師範部卒業	1	—	—	—	—	1
私立東洋大學卒業	—	—	1	—	—	1
私立青山學院高等本科卒業	—	—	1	—	—	1

	縣立中學校				私立北陸中學校	合計
	福井	大野	武生	小濱		
神宮學館卒業	—	—	—	1	—	1
武術專門學校卒業	—	—	—	1	—	1
元陸軍教導團步兵科卒業	—	—	—	1	兼 1	2
第二臨時教員養成所卒業	—	—	1	—	—	1
其他試驗檢定	17	4	5	2	兼 4	32
其他無試驗檢定	—	—	—	兼 1	兼 2	2
總 計	兼 25	12	兼 16	兼 15	兼 12	兼 80

生徒訓育

福井中學校 各學級ニ擔任者一名ヲ置キ學業操行身體ノ發育ニ就テ注意指導シ毎日生徒ト晝食ヲ共ニシ適宜簡單ナル訓話ヲ爲シ又父兄ノ來校ヲ求メ或ハ家庭ヲ訪問シテ其ノ情況ヲ察スルニカマルノミナラス四名ノ教師ヲシテ學校全體ノ風紀ヲ監察セシメ生徒出身ノ學區毎ニ數名ノ校外監督ヲ置キ其ノ學區内生徒ノ集會ニ臨席シテ訓話ヲ試ミ遠足ヲ共ニシ師弟間ノ情誼ヲ深クスルコトヲ圖リ又第五學年生徒ヲシテ輪番ニ風紀ヲシメ自治ノ風ヲ養ヒ兼テ風紀ノ改善ニ勉メ時々生徒ヲシテ教室ノ掃除校域ノ除草ニ從事セシムルコトアリ又財團法人福井中學校學林會ノ事業タル文殊山記念林ノ開墾栽植等ハ職員生徒ヲシテ之ニ當ラシメタリ

大野中學校 朝禮點檢學級主任、監督當番、生徒監、生徒宿所、小學校トノ連絡、家庭トノ連絡、記念林ノ手入れ、校外ノ掃除等ニ關スル規定ヲ實行セルコト從來ニ異ナラス

武生中學校 朝禮點檢隨時ノ訓話學級主任生徒監ノ設置、外泊生ノ宿所選擇父兄會ノ開會家庭ノ訪問ヲ爲ス等訓育ニカメタルコト亦前年ノ同シ

小濱中學校 學級主任、生徒監ノ設置生徒宿所ノ選擇體育ノ獎勵校舍内外ノ麗掃ヲ爲サシムル等訓育ニ注意シタルコト他校ニ異ナラス

北陸中學校 亦從來ノ方針ニ依リ訓育上一層ノ力ヲ用キ本年度ニ於テ新ニ實行シタルモノハ成績不良ノ生徒ニ就テハ十二月中其ノ父兄ヲ招喚シ校長教務主任學級擔任教員ヨリ勉學ノ方法監督指導ノ方法ヲ懇談シタルニアリ生徒學業ノ進否 縣下中學校ヲ通シテ生徒得點ノ總平均ハ七十一點ニシテ詳記スレバ次ノ如シ

	大正六年度				大正七年度			
	生徒總數	落第者	落第歩合	總平均點	生徒總數	落第者	落第歩合	總平均點
福井中學校	618	51	8.3	71	648	45	6.9	72
大野中學校	288	22	7.6	71	288	26	9.0	70
武生中學校	421	18	4.3	72	468	34	7.3	72
小濱中學校	307	48	15.6	69	307	27	8.8	69
北陸中學校	350	33	9.4	69	366	34	9.3	72
計	1,984	172	8.7	70	2,077	166	8.0	71

生徒修學旅行

福井中學校ハ第五學年生徒九十一人ヲ職員四人ニテ引率シ五月二十二日ヨリ三泊ノ日程ヲ以テ京都桃山大阪神戸奈良地方

ニ修學旅行ヲ行ヒ工場貿易港等ヲ巡覽シ科學ノ知識ノ養成ニ資セシメ名所舊蹟ヲ訪ヒテ忠君愛國ノ精神ヲ涵養セシメ且平素學習セシ所ヲ實地ニ就テ指導シ爲ニ生徒ノ知徳ヲ啓發セシモノトシカラス旅行費ハ一人金六圓ツ、徴收セリ

武生中學校ハ全校生徒四百三十八人ヲ五月十日吉田郡永平寺ニ旅行一泊ヲ爲サシメタリ又十月十二日第五學年生徒七十四人ヲ名古屋宇治山田奈良大阪神戸地方ニ旅行セシメ五泊ノ上歸校セシメタリ

北陸中學校ハ第四五學年生徒九十一人ニテ引率シ五月二十二日ヨリ神戸大阪京都ニ旅行セシメ三泊ノ上二十五日歸校シ第二、三學年生徒百七十三人ハ、教員七人ニテ引率シ五月二十三日金澤市ニ至リ即日歸校シ又第一學年生徒百十人ハ、教員二人ニテ引率シ五月二十三日吉田郡永平寺ニ赴キ是亦即日歸校セリ其ノ他ノ學校ニ在リテハ修學旅行ヲ行ハス

入學志願者 入學志願者ハ各中學校トモ其ノ募集人員ヲ超過セリ即チ福井中學校ノ如キハ百七十四人ノ募集ニ對シ四百五十四人ノ多キニ達シ武生中學校亦百五十人ノ募集ニ對シ二百九十四人ノ志願者アリ其ノ他大野中學校ノ募集八十人ニ對シ百二人小濱中學校ハ八十人ニ對シ百九人北陸中學校ハ百二十二人ニ對シ百六十六人ノ志願者ヲ見タリ

入學者父兄ノ職業別 入學者ノ總テ六百四十八人ニシテ父兄ノ職業ニ依リ區別スレバ次ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
福井中學校	66	6	28	67	10	177
第一學年				1		1
第二學年				1		1
第四學年				1		1
計	66	6	28	69	10	179
大野中學校	47	8	10	17	5	87
第一學年				2		2
第二學年				1		1
第三學年				1		1
第四學年				1		1
第五學年	1					1
計	48	8	10	21	5	92
武生中學校	80	3	24	31	8	146
第一學年				1		4
第三學年	1			2		3
第四學年				3		3
計	84	3	24	34	8	156
小濱中學校	46	2	11	26	2	87
第一學年	2	1		3		6
第二學年	2			1		3
第三學年	2		1	2		5
第四學年						
計	52	3	12	32	2	101
北陸中學校	46	6	16	51	1	120
第一學年				1		2
第二學年				1		1
第五學年				1		1
計	46	6	17	53	1	123
總計	296	26	91	209	26	648

補習科 福井中學校ハ四月十六日ヨリ生徒二十三人ノ爲ニ補習科ヲ開始シ六月三十日ヲ以テ閉鎖シ其ノ他ノ中學校ニ於テハ補習科ヲ開カス

高等女學校

福井高等女學校

學校ノ設備 普通教室狹隘ヲ告ク裁縫教室ヲ普通教室ニ兼用スルコト從前ノ如クニシテ不便言フヘカラス又圖書ノ數テ不足ヲ感セサルモ器具器械標本等ハ設備充分ト謂フヘカラス

有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由、有資格教員ハ專任男八人女九人兼任男一人ニシテ其ノ免許狀ヲ受得シタル事由次ノ如シ

東京高等師範學校卒業	2
東京美術學校卒業	1
日本體育會體操學校卒業	1
私立國學院大學師範部歴史地理科卒業	1
試驗檢定	3
以上男子	8
東京女子高等師範學校卒業	3
東京音樂學校卒業	1
私立東京裁縫學校高等師範科卒業	2
試驗檢定	3
以上女子	9
東京高等師範學校卒業	兼男 1

生徒訓育 質素ノ風ヲ養ハシ爲生徒服裝ヲ一定シ勤勞ニ慣レシメン爲メ作業ヲ課シ各學級ニ自治當番五名ヲ設ケ一週間ヲ以テ順次ニ交代シ當番期間内ニ於テ全級生徒ノ行狀ニ注意セシムルコト前年ニ異ナラサルカ更ニ本年度ニ於テハ校友會ノ事業中ニ羽子板ボンボンニスノ三部ヲ設ケ又放課後一定ノ時間ニ於テ廢物利用ノ製作ヲ爲サシムル等訓育方法ニ改善ヲ加ヘタリ又本年度中一日遠足半日遠足ヲ爲シタルコト各五回講堂訓話ヲシタルコト三回、父兄會ヲ開キタルコト一回、運動會ヲ開キタルコト二回、名士ノ講演會ヲ開キタルコト二回ニ及ヘリ

教授ニ關シテハ從來ノ如ク學力ノ進歩實際ノ應用ニ注意シ兼テ國民思想ノ養成ニ力メ或ハ科外講演ヲ開會シ休暇課題ヲ行ヒ常識修養ニ注意シ生徒文庫ヲ設ケ學校新聞ヲ發シ學藝會音樂會ヲ開キ又伊勢及京阪地方ニ修學旅行ヲ爲サシメタリ尙出席獎勵ノ爲四年間皆出席精勤者一年間皆出席者ニ賞狀ヲ與ヘタリ

生徒學業ノ進否 本校卒業者ニシテ上級ノ學校ニ入學シタル者漸次多キヲ加ヘ生徒得點平均ハ八點強ニシテ前年ニ比シ幾分ノ進歩ナリ

入學者父兄ノ職業 左ノ如シ

	農業	工業	商業	庶業	無職	計
本科	38	14	34	42	22	150
第一學年	1	1	2	3		7
第二學年			1	3		4
第三學年						
計	39	15	37	48	22	161
實科 第三學年				1		1
總計	39	15	37	49	22	162

本年度ニ於テモ實科生ヲ募集セス

補習科 本年度ニ於テモ補習科ヲ置カス

大野郡立實科高等女學校

學校ノ設備 本校ハ元徒弟學校ナリシカ大正五年度ヨリ改メテ實科高等女學校ト爲シタルモノナルヲ以テ校地校舍校具等略ク備ハリ基キ支障ヲ見サリシモ作法室ノ設ケアラサリシニ因リ本年度ニ於テ寄宿舎兼作法室一棟ヲ増築シ教授上管理上

大ニ便利ヲ得ルニ至レリ又圖書器械標本モ相當ニ備ハレリ
有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ男專
任一人兼任二人女專任五人ニシテ其ノ教員免許狀ヲ受得シタ
ル事由次ノ如シ

東京帝國大學文科大學卒業	男	1
東京女子高等師範學校卒業	女	3
奈良女子高等師範學校卒業	女	1
私立東京女子職業學校甲部師範科卒業	女	1
以上專任		
東京美術學校圖畫師範科卒業	男	1
福井縣師範學校卒業	男	1
以上兼任		

生徒訓育 質素ニシテ勤勞ヲ好ムノ習慣ヲ養フコトニ力メ成績
良好ナリ

生徒學業ノ進否 入學者選抜試験ヲ行ハサルヲ以テ學力不同ヲ
免レスト雖概シテ進歩ノ狀ニシテ殊ニ裁縫科ニ於テハ普通衣
類ノ範圍ヲ實用的ナルモノ止メ練習ニ重キヲ置クヲ以テ成
績良好ナルカ如シ

選科 選科ノ裁縫ヲ主トシ修身・家事・作文・習字・體操・唱歌等ヲ
修メシム生徒ハ農繁ノ季節ニ於テ缺席者ノ少カラサルモ入學
者ハ漸ク増加ノ傾アリ

入學者父兄ノ職業

	農業	商業	庶業	計	
實科	第一學年	19	10	10	39
	第二學年	20	4	9	33
	第三學年	—	1	—	1
	計	39	15	19	73
選科	15	2	3	20	

武生町立實科高等女學校

學校ノ設備 逐年完成ニ近ツキ教授管理何レモ支障ナシ
有資格教員ノ教員免許狀ヲ受得シタル事由 有資格教員ハ專任
男一人女五人兼任男二人ニシテ其ノ教員免許狀ヲ受得シタル
事由次ノ如シ

東京高等師範學校專修科卒業	男	1
奈良女子高等師範學校卒業	女	3
私立共立女子職業學校高等師範科卒業	女	1
試験檢定	女	1
以上專任		
東京帝國大學文科大學卒業	男	1
小學校教員	男	1
以上兼任		

生徒訓育 貞淑ノ美德ヲ涵養シ藝術ヲ練習シ勤勞ニ堪ヘ實踐躬
行スルノ方針ヲ以テ訓育ヲ施セルコト前年ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 學科術科トモ年々逐テ進歩ノ狀態ナリ

入學者父兄ノ職業

	農業	工業	商業	庶業	計
第一學年	23	3	7	10	43
第二學年	8	2	1	8	19
計	36	5	8	18	67

實業學校

福井縣立福井農林學校

學校ノ設備 本年度ニ於テ講堂百四坪一棟ノ建設ヲ了ヘ又寄宿
舎一棟ヲ増築シ食堂其ノ他附屬建物等ノ模樣替ヲ爲スノ計畫
ナルモ未ダ工事ニ著手スルニ至ラス

校地及實習地等ハ果樹園其ノ他區劃ノ變更溝渠ノ埋立等ヲ爲
シタル結果各區劃ノ段別ニ異動ヲ生シタルモ總段別ニ於テハ
前年ノ如クナリ

教授用器具器械標本等ノ必要ニ應シ年々多少ノ購入ヲ爲シテ
補充スルモ近來物價昂騰ニ因リ意ノ如クナル能ハサルハ遺憾
ナリトス

教員ノ資格別 教員ハ學士ト稱スルコトヲ得ル者專任二人兼任
一人文部大臣ノ指定シタル者專任十一人ナリ

生徒ノ訓育 教員ヲシテ實踐躬行以テ生徒ヲ率フルノ覺悟ヲ持
セシメ生徒ヲシテ其ノ本分ヲ守リ勤儉力行農林業者トシテ適
當ナル人物ヲラシメシメテ勉メ生徒手帳ノ設ク級主任通學
生監督寄宿舎監督級長副級長舍長通番炊事係等ヲ置キ又補助
機關トシテ農友會級會共同販賣部ヲ設置シアルコト從來ニ異
ナラス

生徒學業ノ進否 各學年ヲ通シテ落第者六名ニシテ前年ニ比シ
五分ノ一ニ減シ一般生徒ノ修學ハ頗ル進捗セルモノト認メラ
ル

生徒實習及修學旅行

實習 教授科目ニ準據シタル實習像ニ依リ成ルヘク其ノ學
習セシ學理ヲ實地ニ研究練習セシメ以テ學科ト實習トノ連絡
ヲ圖リ其ノ觀察力ヲ養成シ且勤勞ノ貴重ナルコトヲ自覺セシ
メテ勉メ學科終了後二時間ノ實習ヲ課スルヲ定例トス

修學旅行 六月八日ヨリ十六日迄第四學年四十人ヲ教員引率
シテ東京京都ノ二府及長野栃木神奈川靜岡愛知三重ノ六縣ニ
旅行シ同府縣ニ於ケル農林業ノ實狀及名所舊跡ヲ見學セシメ
タリ

學校ト實業界トノ關係 學校ニ於テハ成ルヘク一般農林業者ト
密接ナラシムルノ方針ヲ執リ農業界ニ於テモ農業教育ノ必要
ヲ感スルモノ漸ク多キヲ加フル至レリ

尙本校農友會ハ六月二十日ヨリ五日間第二回蠶業講習會ヲ開キ
京都高等蠶業學校教授鈴木健弘氏ヲ聘シタルカ講習證書ヲ授與
セラレタル者七十名ニ上リ又三月二十三日ヨリ三日間第三回蠶
業講習會ヲ開キタリ修了證書ヲ授與セラレタル者五十九名ニ及
ヘリ

福井縣立小濱水産學校

學校ノ設備 校地校舍前年ニ異ナラサルモ本年度ニ於テハ製造
科實習場ニ文部省補助ニ係リ改良登織機ヲ物理化學教室ニ電
動發電機ヲ設備シ實習及教授上ニ多大ノ便宜ヲ得タリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任五人兼任一人ニシテ資格別左
ノ如シ

文部大臣ノ指定シタル者 專任四人兼任一人
文部大臣ノ認可シタル者 專任一人

生徒訓育 時々ノ學校長訓話・學級主任ノ設置・寄宿舎ノ監督等
從前ニ異ナラス

生徒學業ノ進否 少數ノ學力不十分ナル者ニ對シテハ當該學科ノ擔當教員ヲシテ補充ノ道ヲ講セシメ知能ノ増進ヲ計リ落第者ヲ減少セシメタリ

生徒實習及修學旅行

漁撈科ハ若狹灣前及丹後ノ近海ニ於テ運用航海ノ練習及各種漁業ノ實習ヲ爲サシメ且ツ夏期休暇ヲ利用シテ實習船ヲ島根縣方面ヘ廻航セシメ各地ノ漁法漁具及漁業經營等ニ就テ調査セシメタリ

製造養殖科ハ普通實習ノ外十月十三日ヨリ二十三日迄滋賀愛知京都大阪兵庫奈良ノ二府四縣ヘ實習旅行ヲ爲サシメタリ即チ滋賀縣ニ於テハ知内孵化場ニ於テ鮭ノ採卵孵化ノ狀況調査淡水魚族ノ活洲畜養法南翔洗堰ノ鰻魚梯ヲ見學シ京都ニテハ濱口罐詰工場ノ各種罐詰製造法ヲ調査セシメ大阪ニテハ貝釘罐詰、刻昆布等ノ製造工業狀態魚市場ノ狀況ヲ視察シ兵庫縣ニテハ駒ヶ林ニ於テ煮干鯛ノ製造大塩ニ於テ製鹽業ノ模様ヲ見學シ奈良縣ニテハ郡山ノ金魚養殖ヲ調査シ愛知縣ニテハ熱田養魚株式會社養魚場熱田魚市場及蒲鉾製造ヲ視察セリ

學校ト實業界トノ關係 本年度ニ於テハ三方郡北西鄉村丹生郡國見村四箇浦村遠敷郡内外海村大阪郡内浦村ニ於テ短期水産講習會ヲ開催シ各専門ノ教員ヲ出張セシムル等當業者トノ間ヲ密接ナラシムルコトニ注意シタリ

福井縣立工業學校

學校ノ設備 校地校舍トモ前年ニ異ナラス將來設備ヲ要スルモノ少ナカラサルモ教授管理支障ヲ見ス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任七人兼任六人ニシテ皆文部大臣ノ指定シタル者ナリ

生徒訓育 學級主任ヲ定メ生徒通知簿ヲ設ケ寄宿舎ヲ備ヘ級長副級長ヲ置キ家庭トノ聯絡ヲ圖リ其ノ他工友會ヲ組織シ講演會運動會ヲ開催スル等訓育ニ注意セルコト前年ノ如シ

生徒學業ノ進否 本學年ニ於テ第二回卒業者二十三人ヲ出シ進級シタル者本科四十五人豫科四十三人原級ニ止リタル者十五人ナリ又操行善良學術優秀ニ依リ授賞シタル者三十人アリ

生徒實習及修學旅行

實習 各學年ヲ二組ニ分チ半學期交替ノ染色機織ノ實習ヲ爲サシム

第一學年ニハ絲結矢金鈞リ繞洗ノ作方及準備下拵等ヨリ手織機ヲ用キテ簡單ナル織物ノ製織法ト織物用諸纖維ノ化學的性狀ニ對スル豫備實驗ヨリ綿絲ノ染色即チ木綿ノ精練漂のヨリ直接硫化堿基性媒染雜菌等諸染料ノ染法並各種副染料混合ノ實驗等ヲ行ハシメ第二學年ニハ絹綿交織物ヲ手織機ニ依リテ製織セシメ又足踏機力織機ヲ以テ織物ヲ製織セシメ染色ハ絹毛絲ノ精練漂白ヨリ直接硫化堿基性酸性媒染植物雜菌等ノ各種染料ノ染法並染料配合試染實驗等ヲ爲サシメタリ第三學年ニハ手織ニ在リテハジャカードヲ用キ絹紋織物ヲ製作セシメ力織機ニ在リテハ種々ナル織物ヲ製織セシメ兼テ織物ノ設計準備注意匠原料實驗繅絲織物仕上法等ヲ實地研究セシメ染色ハ一般型付捺染法及其ノ應用ヲ實習セシメ綿絹毛布ノ順序ニ依リ直接捺染法ヨリ初メ防染捺染型付浸染ニ進ミ最後ニ各種織物用纖維交織物ノ捺染ニ移リ其ノ應用法ヲシテ金

屬物染法注込法摺込法引染法絞リ染緋絲染等ノ實習及斑点拔法並染色堅牢度試驗法染料ノ部屬檢定法等ヲ習得セシメタリ

修學旅行 四月二十五日ヨリ四日間本科各學年生ヲ大阪府ニ旅行セシメ工業學校造幣局商品陳列館三越吳服店朝日新聞社等ヲ見學セシメタリ豫科各學年ハ四月二十七日敦賀郡ニ赴キ商業學校金崎宮氣比神宮歩兵第十九聯隊等ヲ巡覽又ハ參拜セリ又十月十三日ヨリ七日間本科第三學年ハ東京群馬栃木ノ一府二縣下ヘ修學旅行ヲ爲シ博物館商品陳列館其ノ他ノ學校工場等ヲ見學シ同月十七日ヨリ三日間本科第一第二學年ハ滋賀岐阜ノ兩縣下ヘ豫科各學年ハ同月十九日大野郡地方ヘ旅行ヲ爲シタリ

學校ト實業界トノ關係 學校ト實業界トヲ聯絡セン爲職員ヲ派遣シ實地指導ヲ爲シ或ハ講習會ヲ開ク等學事ノ獎勵ト開發ニ意ヲ注クコトヲ愈ラシテ隨テ工業教育ノ必要ヲ感スルモノ漸ク多ク本年豫科第一年四十名ノ新入學募集ニ對シ二百二十六名ノ應募者ヲ見タリ

尙染織工業ニ從事スル職工徒弟又ハ斯業講究ノ希望者ニシテ晝間修學ノ暇ヲキモノ、爲ニ簡易ノ學理ヲ教授スル目的ヲ以テ春秋二回毎回三箇月間夜間講習會ヲ開催シタリ此ノ講習ニ於テ修了證書ヲ授與セラレタル者機織十五人染色十七人アリ

福井縣立敦賀商業學校

學校ノ設備 本校ハ元敦賀町立ニ係リシカ本年度ヨリ縣立ニ移シタルモノニシテ町費多端ノ間經營十餘年設備善シク遺憾ノ點ナキカ如クナルモ亦敢テ完備ト稱スルヲ得サルハ免レ難キ事ナリトス乃チ縣營移管ト同時ニ臨時費四萬九千四百圓ヲ費シテ教室八十五坪寄宿舎百六十四坪講堂九十一坪校長住宅三十八坪二合五勺ヲ新築シ日露貿易參考館ヲ設ケ運動場千七十二坪ヲ加ヘ生徒控所ヲ擴張スル等工事善ク進行シ未タ竣功ヲ見サルモノナキニアラサルモ面目頓ニ一新シ教授其ノ他便宜ヲ得ルコト昔日ノ比ニアラス蓋シ設備完成ヲ告グルノ日甚ク遠カラサルヘシ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任六人兼任一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

生徒訓育 學業ノ研鑽ニ主力ヲ注クト同時ニ體育ニモ意ヲ用キ又德育ニ於テモ校長及教員模範タルノ覺悟ヲ以テ實踐ヲ獎勵シ生徒ノ勤怠ニ注意シ漸次出席歩合ヲ良好ナラシメタリ又ハ級會ヲ開キ各自ノ意見ヲ披瀝セシメ思想上ノ指導ヲ與フルト共ニ言語禮節等ノ修養ヲ爲シ好果ヲ得タル外人接待ノ點ニ於テハ常ニ遺憾多キヲ以テ特ニ意ヲ留メテ指導セリ

生徒學業ノ進否 生徒學業總平均得點七十六點ニシテ大體ニ於テ進境著シキモノアリ殊ニ本年度ハ數回ニ互リテ英語兩語ノ語學會ヲ開キ當地在住外人ノ參加ト列席トヲ容シ回々重ナル毎ニ好成績ヲ學ケタリ

生徒實習及修學旅行

實習 本科第三學年ニハ同時同業實踐法ニ依リテ教授シ其ノ商家ヨリ通學スルモノニ對シテ學課ノ妨ケサル範圍ニ於テ平素勉メテ各自ノ自家業務ニ參加セシメ其ノ間自ラ實習ヲ爲サシム即チ月末集金ノ如キハ市中ヲ通シテ生徒ノ多數カニ

當ルハ本校創立以來ノ慣例ナリ

修學旅行 毎年阪神等主要都市ニ修學旅行ヲ爲サシメ日露貿易專修科及本科上級生ニハ其ノ費用ヲ補給シ年一回西比利亞内地ニ旅行セシメ語學ノ實習ト同時ニ貿易ノ實地ニ就テ觀察ヲ遂ケ著シキ効果ヲ見タリ又夏期休業中浦潮方面ニ到リ商店ニ入り實地習業ヲ爲スモ亦年々多キヲ加ヘ彼我共ニ之ヲ利傾トス將來獎勵スヘキ好實習法ニシテ且好修學旅行ナリト認ム

學校ト實業界トノ關係 本校職員ハ實業者ト接觸シ密接ナル連絡ヲ保ツニ留意シ或ハ各種實業團體ニ參加シ意見ヲ開陳シ實業者ノ本校ニ來リテ所見ヲ披瀝スルモノ漸ク多ク又西比利亞方面ニ渡航スル名士實業者ニシテ當地ヲ通過スルモノ殆ト本校講堂ニ立ツチ例トス如クニシテ本校ハ内外ニ知人ヲ有スルコト多シ

福井市立福井商業學校

學校ノ設備 校地校舍トモ前年ニ異ナラス圖書器械標本類ハ漸次購入スルヲ以テ教授管理支障ヲ見ス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任九人兼任一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ生徒訓育商業家必要ノ道德ヲ養成シ實踐躬行ヲ勸奨スル爲ニ生徒監ヲ置キ學級主任ヲ設ケテ訓育ノ任ニ當ラシメ且ツ家庭ノ訪問保證人ノ召喚父兄談話會ノ開會通告簿ノ設備生徒心得ノ携帶等始ト前年ノ如クナリ

生徒學業ノ進否 生徒總平均點ハ前年七十點四本七十四點ニシテ前年ニ比シ進歩セリ

生徒實習及修學旅行

實習 內國商業ニ於テハ同時同業法ニ依リ獨立シテ商業ニ從事セントスル者ノ一般ニ注意スヘキ事項ヲ初メトシ書類手形等ノ取扱其他帳簿通信書類等ノ整理ニ至ル迄ノ詳細ナル手續ヲ教授シ之ニ實際ノ方面ヲ加味シテ銀行鐵道及海上運送保險通信其ノ他個人ノ商業上使用スヘキ諸般ノ施設ヲ利用シ以テ平素修得セル智識ヲ應用セシメ生徒ヲシテ最進歩セル商業取引ヲ爲スニ當リ直接間接遭遇スル諸種ノ手續ヲ處理スル能力ヲ養ハシメ外國商業ニ於テハ往復文書電報其ノ他各種ノ書式ヲ作成セシメ以テ英文ノ研究ヲ爲サシムルト共ニ英米ニ於ケル商習慣ノ大要ヲ知ラシム

修學旅行 本科第三學年生ヲシテ東京橫濱名古屋地方ニ修學旅行ヲ爲サシメ各地ノ會社銀行取引所工場等ヲ參觀セシメタリ

學校ト實業界トノ關係 卒業生ハ或ハ各種ノ會社商店ニ採用セラレ或ハ自家ノ商業ニ從事シ成績佳良ナルヲ以テ一般實業界ニ於テハ商業教育ノ必要ヲ認ムルモノ多シ

坂井郡立坂井農學校

學校ノ設備 本校ハ大正七年四月ヨリ開校シタルモノニシテ校地千六百二十坪校舍二階建坪五十坪附屬建物平屋建二十八坪五合實習地田五百八十三坪畑九百六十六坪ヲ有シ圖書器械標本等モ相應ノ設備アリ

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任一次兼任一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

生徒訓育 校風ノ養成自治心ノ發揮ヲ圖リ生徒心得ヲ定メ實踐

躬行セシメ成績良好ナリ

生徒學業ノ進否 學業ト實習ト並行進歩セシムルノ必要アルモ動モスレハ二者伴ハサルノ傾アリ是ハ主トシテ學校ノ性質ト家庭ニ於ケル家事ノ手傳トノ關係上復習練習ノ不足スルニ在リ故ニ此點ニ留意シテ勉強スル習慣ノ養成時間ノ經濟的利用教材ヲ地方的ナラシムルコト家庭ニ於テ餘暇ヲ與ヘシムルコト等ノ方法ヲ採リシ爲第一學期ヨリハ第二學期第二學期ヨリハ第三學期ニ於テ成績良好ニ進メルヲ見タリ

生徒實習及修學旅行

實習 生徒組別ヲ定メ正副組長ヲ置キ組員ノ勤惰農具ノ出納等ニ任セシメ又農場巡視ヲ置キ交互ニ農場ヲ巡視シ實習ノ種類及配當表ヲ作ラシムル等ノ方法ヲ以テ技術ヲ練磨シ且經營方法ヲ會得セシムルニ注意セリ

修學旅行 十月十三日ヨリ四日間ヲ以テ京都桃山等ヘ生徒全部ヲ旅行セシメタリ

學校ト實業界トノ關係 兩者連絡方法トシテ講習講話農事指導連絡ノ視察土性調査種子交換等ヲ行ヒタリ

今立郡立農學校

學校ノ設備 本年度ニ於テ生徒控所ヲ増築シ生徒便所ヲ改築シタル外從前ニ異ナラス

教員ノ資格別 有資格教員ハ專任四人兼任一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

生徒訓育 勤勉實業ニシテ勞働ニ堪ヘ堅實ナル農村ノ維持者トシテ必要ナル性格ヲ養成スル爲教化ノ方面ニ在リテハ講堂講話及名士ノ講話ヲ行ヒ實行ノ方面ニ在リテハ職員ノ言語動作ヲ慎ミテ範ヲ示シ農產品評會ヲ開催シテ其ノ優劣ヲ比較シ其ノ他服裝ノ檢查家庭ノ訪問等ヲ爲シ直接間接訓育ニ注意シタリ

生徒學業ノ進否 養蠶及實習作業等ノ爲學課ヲ缺クコト少ナカラサルモ其ノ餘後ニ於テ豫習復習ヲ獎勵シテ進歩ヲ圖リ或ハ冬季又ハ風雨等ノ爲實習困難ノ場合ニ於テハ學課時間ヲ延長スルノ方法ヲ行ヒタルニ因リ生徒學業ハ比較的進歩セリ

生徒實習及修學旅行

實習 水田畑地及養蠶等ノ實習ハ前年ニ異ナラス

修學旅行 五月七日全校生徒ヲ引率シテ今立郡味真野村文室嶺山遠足旅行ヲ爲シ又七月二十四日ヨリ四日間第一學年及第三學年生徒ヲ引率シテ丹生郡四箇浦村梅浦ニ至リ臨海教授ヲ爲シタリ又十月十一日十二日ノ二日間第三學年生徒ヲ引率シテ金澤市ヘ修學旅行ヲ爲シタリ

學校ト實業界トノ關係 農業界トノ連絡ヲ圖ル爲學校長ハ郡農業技師ヲ兼任シ郡内農業ノ改良進歩ヲ圖リ其ノ施設ニ參與スルノ外他ノ教員ニリテモ講習會ノ講師トナリ或ハ講話ノ爲郡内ニ出張シ步兵第三十六聯隊ヨリモ農事講話ノ依頼アリ本校教員交代シテ講話スルチ例トス又生徒ノ家庭訪問生徒募集等ノ際ヲ利用シテ篤農家ヲ訪問シ實地指導ヲ爲シ又ハ意見ヲ交換シ或ハ製茶養蠶養雞搾乳等ノ實習ハ其ノ當業者ニ就テ生徒ヲ引率シテ之ニ從事セシメタリ

坂井郡立女子實業學校

學校ノ設備 校地千六百五十三坪八合九勺(外ニ借地二百三十

七坪) 校舍百七十坪寄宿舍四十七坪半炊事場二十七坪半養蠶室三十一坪半附屬建物六十坪五合ヲ有シ本年度ニ於テ新ニ設備シタルモノ無シト雖桑園ノ桑樹ハ發育佳良ニシテ植栽後二年ナルモ桑葉八十貫ヲ穫リ蔬菜園ハ土質不長ナル爲十分ナル收穫ヲ得スト雖是亦約二十圓ノ所得アリ新校舍ハ幅四間長七間ノ建物ニシテ採光通風ノ設備裁縫教室トシテ間然スル所ナシ其ノ他養蠶ノ設備モ斯業者ノ參考トナルヘキ價値アルモノナリ然レトモ雨天體操場ヲ缺クハ暇遣ニシテ寄宿舍ノ擴張亦考慮ヲ要ス

圖書器械標本等モ設備殆ト十分ナリ
教員ノ資格別 有資格教員ハ專任男一人兼任男一人ニシテ皆文部大臣指定ノ資格ヲ有スル者ナリ

生徒訓育 本校ハ徒弟學校トシテ設置シタルモノナレトモ其ノ内容ハ強テ徒弟ヲ養成スルニアラス郡内中流家庭ノ主婦タルヘキモノヲ養成スルノ目的ヲ以テ教育シ勞働ヲ厭ハス汚キ務ヲ嫌ハス他人ノ命ヲ待タサルニ先テテ事ヲ爲シ清潔整頓ニ法意ヲ節約利用ニ就テハ人後ニ落チサランコトヲ期スルノ習慣ヲ養フニ勉メ隨時開催ノ講堂訓話ニ際シ之ヲ説示スルハ勿論實習ニハ教師自ラ勞役ニ服シ範ヲ示ス

生徒學業ノ進否 本校創立後十年ヲ經過シタルモ未タ入學志願者ハ募集人員ニ超過スルニ至ラス然レトモ創立當時百五十名ノ生徒ナリシモ本年度二百三十名ニ上リ選抜試験ヲ行ハサル結果成績一樣ナラス讀書作文ヲ除ク外著シキ進步ヲ見サルモ技能ノ學科就中裁縫ハ著シク進步セルヲ見ル

生徒實習及修學旅行
實習 教室内ニ於ケル裁縫手藝ノ實習ハ之ヲ省キ室外實習トシテ桑園蔬菜園ニ於ケル農事養蠶室ニ於ケル飼育、炊事場ニ於ケル割烹ノ三種トス

修學旅行 本校ハ創立以來宿泊ヲ要スル修學旅行ヲ行ヒシコトナク本年度ニ於テハ汽車ヲ利用シ終日旅行トシテ敦賀ニ行キシモノ百二十名他ハ凡一里ヲ隔テタル海岸三里濱ニ旅行シタリ

學校ト家庭トノ連絡 其他毎年一回以上保護者懇談會ヲ催シ保護者ニ對シ學校ノ教育方針ヲ説明シ保護者ノ意見ヲ聽取スルヲ例トス又毎年春秋二回同窓會ヲ開キ舊交ヲ温メ諸種ノ裁縫手藝品等ニ關シ協議ス

遠敷郡立小濱女子技藝學校

學校ノ設備 校舍ハ稍完備セルモ生徒寄宿舍特別教室等ハ改築ノ必要ヲ認ム又戶外運動場モ狹隘ニシテ擴張セサヘカラス

教員ノ資格別 有資格教員ハ男一人女四人ニシテ文部大臣ノ指定シタル資格ヲ有スル者女一人ヲ除クノ外皆文部大臣ノ認可シタル者ナリ

生徒訓育 賢母良妻主義ニ基キテ婦徳ノ養成勞働精神ノ涵養技能ノ熟練ニ留意シ且身體ノ發達體力増進ヲ圖ラン爲體育ヲ獎勵シ尙家庭生活ノ實習ニ便セン爲成ルヘク寄宿舍ニ入ラシムルノ方針ヲ採ルコト概ネ前年ニ同シ

學校ト家庭トノ連絡 毎年二回生徒成績品展覽會ヲ開キ同時ニ之ヲ販賣シ生徒ヲシテ益發奮向上セシメ旁ヲ學校ノ内容ヲ父兄一般ニ知ラシムルノ方法ト爲ス

實業補習學校

實業補習學校ハ工業二、農業百六十(外ニ分教場八)水産三、商業四、其他四十(商船ナシ)計二百七校八分教場ニシテ前年ニ比シ四十四校ヲ減シ六分教場ヲ増シタリ斯ク減少シタルハ廢舍ヲ爲シタルニ由ル

補習學校ハ毎年記述セル如ク小學校若ハ其ノ他ノ學校ニ附設スルモノナルヲ以テ何レモ小學校又ハ其ノ他ノ學校校舍器具等ヲ使用シ稀ニ寺院又ハ大字共有ノ建物ヲ使用スルノミ故ニ概シテ設備缺クル所ナク教員亦殆ト小學校教員ノ兼任ナリ教授時季ハ農閑ヲ利用シ若シ夜間ニ於テスルモノ多シ實習ハ生徒各自家庭ニ於テ其ノ業ニ従事スルヲ以テ學校ニ於テ之ヲ課スルノ必要ヲ認メサルモ尙青年會青年團體等ノ事業タル蔬菜園果樹園及水田等ヲ共同試作スルモノアリ或ハ郡農會技手並郡技手ヲシテ學校ヲ巡回シ養蠶畜産林業其ノ他ノ農事指導ヲ行ハシメタル處アリ又生徒ハ往々他郡他村ニ赴キ農事ノ實地觀察ヲ爲シタルモノアリ一般實業界ニ於テモ實業補習教育ノ必要ヲ認メ居レリ

各種學校

小學校ニ類スル各種學校 市立一町村立八ニシテ多クハ町村立小學校内ニ設置セラレ教員亦小學校教員ヨリ兼務スル者多數ナレハ教授管理支障ヲ見ス學校ハ概ネ裁縫家事修身國語等ナリ高等女學校ニ類スル學校 町立一私立一アリ次ノ如シ

敦賀町立敦賀女學校 明治十年裁縫專科トシテ小學校内ニ附設セシカ爾來幾多ノ變遷ヲ經テ獨立シ明治四十二年十一月敦賀高等小學校ノ改築ト同時ニ同一構内ニ校舍ヲ設ケ修業年限ヲ三年トシ内容實科高等女學校ニ類似スルモノナリシカ本年度限り之ヲ廢シ更ニ文部大臣ノ認可ヲ得テ實科高等女學校トシテ生徒全部ヲ之ニ引繼キタリ

私立仁愛女學校 明治三十一年ノ創立ニ係リ修業年限四年ノ本科、同一年ノ補習科ヲ置キ本科ニハ尋常小學校卒業程度ノモノヲ入學セシム校地三百二十五坪附屬地四十三坪校舍七十六坪附屬建物百二十四坪アリ教室五十二坪裁縫室六十坪特別教室十四坪其ノ他事務室寄宿舍ニ區畫ス器械器具圖書等モ略完備スト雖體操場狹隘ナルヲ遺憾トス授業ハ修身地理日本歷史算術圖畫等何レモ高等女學校用教科書ヲ用キ相當ノ教師ヲシテ之ヲ爲サシメ裁縫家事ハ其ノ知識技能アル教師ヲ選ヒ又手藝茶儀生花ハ隨意科トシテ課ス教授時數授業時間ノ終始等殆ト高等女學校ニ準シ修身及裁縫ニ一層重キヲ置ケリ學校維持ニハ寄附金授業料及縣獎勵交付金等ニ依レリ

其ノ他ノ各種學校 私立二校アリ次ノ如シ

私立北陸專修學院 本院ハ私立北陸中學校内ニ設ケラレ同校生徒中志望者ニ限リ佛教ヲ授クル所ニシテ教場其ノ他ハ中學校ヲ使用スルヲ以テ何等ノ支障ヲ見ス教授ハ佛教ノ一般智識ヲ修得セシムルニアリテ宗乘科ハ聖典ノ原文ヲ使用シ素讀通解ヲ授ケ餘乘科ハ教科書ヲ用キ參考書ヲ與ヘ佛教ノ要旨三國佛教史各宗綱要ヲ修得セシム各科時々答案又ハ教場使用ノ筆記帳等ヲ提出セシメ應用力理解力ノ増進ニ勉メ第四五兩學年生ヲ福井市内寺院ニ繞テ法式及布教ノ實習ヲ爲サシム

私立福井英語學校 本校ハ米國宣教團ノ設立スル所ナリ校舍ハ福井市内福井聖三一教會堂ヲ以テ之ニ充テ基督教理ニ基ケル

倫理ヲ講シ英語ヲ授ク學校維持方法ニ日本聖公會傳道局補助金及授業料ニ依レリ

學校衛生

清潔法施行 各學校ニ於テハ日常掃除ヲ行ヒ毎季若ハ春秋二回大掃除ヲ爲スコト從前ニ異ナラス殊ニ本年ハ教師兒童ノ流行性感胃ニ罹リタル者尠ナカラサルヲ以テ此等ノ學校ニ於テハ特ニ大清潔大消毒方法ヲ行ヒタリ

學校醫視察 師範學校中學校高等女學校甲乙種實業學校等ニ在リテハ年數回學校醫ノ視察アリ或ハ衛生講話ヲ爲スモ小學校ニ在リテハ年一回兒童身體檢査ヲ行フニ止マルモ多シ然レトモ本縣學校衛生主事ハ時々學校ヲ視察シ指導ヲ爲シタルコト前年ノ如シ

學校醫ノ資格別 學校醫ハ總テ百五十一人アリ其ノ資格別學

帝國大學醫科大學卒業	人
元東京大學醫學部醫學科別科並選科卒業	2
官立醫學專門學校醫學部元高等學校及高等中學校醫學部醫學科卒業	72
府縣立醫學科卒業	11
東京帝國大學醫科大學國家醫學講習科修了	1
醫術開業試驗及第	56

生徒兒童ノ健康 一般生徒兒童ノ健康狀態ハ良好ナルモ秋季流行性感胃ニ罹リタルモノ尠ナカラサリシハ遺憾ナリ

傳染病豫防及消毒 傳染病豫防ニ就テハ常に注意ヲ怠ラサリシカ一時流行感冒大蔓延ヲ爲シ學校ノ臨時休業ヲ爲シタルモノ全數ノ八九分ニ至リタルヲ以テ夫々消毒方法ヲ行ヒタリ又トラホーム撲滅ノ爲ニハ公立學校トラホーム檢診及治療規程ニ依リ生徒兒童ヲ檢診シ有病者ニ對シテハ治療ヲ爲サシメタリ九月十日福井農林學校寄宿舎ニ赤痢患者一人八年二月敦賀商業學校ニ腦脊髓膜炎一人ヲ發生シタルモ蔓延ニ至ラザリキ

學校園學林及樹栽

師範學校學校園ハ從來ノ如ク構内ニ設ケタル觀賞園教材園等皆生徒ヲシテ作業及管理ニ任セシメ園藝ノ趣味ト勤勞ノ良習ヲ養成セシムコトニ力メ行啓記念タル有終園濟美園ハ前年大雪被害ノ跡漸ク回復セラレ又學林ハ職員及全生徒ヲシテ管理セシメタリ福井中學校ハ財團法人福井中學校學林會ヲ組織シ植林經營ヲ爲スコト從來ノ如シ

大野武生小濱北陸ノ各中學校及高等女學校實業學校等ニ在リテモ皆相當ノ學校園又ハ學林ヲ有セサルナク何レモ除草栽培等ハ教員及生徒ニ於テ之ヲ爲スコト從前ニ異ナラス其ノ他小學校等在リテモ學校園ヲ設ケルモノ多ク殊ニ山間部ニ於ケル學校ハ學林ヲ設置シ或ハ學校基本財産蓄積ノ目的ヲ以テ植林ヲ行フモノアリ

教員檢定及免許狀授與

小學校教員無試驗檢定ハ隨時之ヲ施行シ試驗檢定ノ定期八月中福井市及坂井郡三國町大野郡大野町遠敷郡小濱町ノ四箇所ニ於テ之ヲ行ヒタリ又坂井郡丹生郡大飯郡ノ三尋常小學校准教員養成所修了者ニ對シテハ臨時試驗檢定ヲ行ヘリ本年度檢定總人員ハ男百七十二人女百二十人ニシテ檢定合格者男八十八人女七十人ナリ同合格者及師範學校卒業者ヲ併シ男百六十三人女百二人ニ

對シ教員免許狀ヲ授與セリ

教員講習

本縣ニテハ教員講習會ヲ開カサリシカ各郡ニ於テハ郡教育會ノ事業ヲ以テ小學校教員講習會ヲ開キタルモノ多シ講習日數ハ五日乃至七日ニシテ算術理科教育科修身教授法等講習シタリ

教科用圖書

中等教育教科用圖書ハ何レモ適當ナリ又小學校教科用圖書ハ從前ノ如ク多少ノ遲滞ヲ免レサルヲ遺憾トス

圖書館

圖書館ハ市立一郡立一村立一私立十七アリ前年ニ比シ私立一ヲ増シタリ

市立福井圖書館ハ職員三人ヲ置キ專ラ圖書ノ整理閱覽等ノ庶務ニ從事シ諸般ノ設備整頓セリ本年度開館日數二百九十二日ニシテ閱覽人員一萬五千二百二十八人ニ上レリ今其ノ圖書ヲ種別スレハ次ノ如シ

	貸與圖書數	閱覽人員		貸與圖書數	閱覽人員
宗教	206	501	美術	21	46
法制	57	954	地理	175	306
文語	517	2,990	理化	155	786
經濟	9	18	實業	151	282
學語			辭書	89	328
史	366	1,049	新聞	—	1,975
雜	92	2,559	計	2,807	15,228
雜	879	3,394			

又閱覽人員ヲ種別スレハ次ノ如シ

學生	5,464	商業	411	會社員	96
農業	269	公吏	3	僧侶	48
教員	160	神職	3	工業	97
官吏	116	記者	65	畫工	7
辯護士	1	軍人	9	醫師	2
驛員	13	藥劑師	3	啞教師	1
郵便局員	40	羽二重檢査員	5	雜業	68
無職其他	8,347	計	15,228		

郡立三方圖書館ハ巡回文庫ノ方法ニ依リ書庫七箇ヲ以テ期間ヲ定メ郡内各村ニ回付シ學校長ヲ管理者トシ更ニ各村ニ在リテハ村教育會又ハ村青年會ノ事業トシテ圖書閱覽所ヲ設ケ順次循環セシメテ公衆ノ閱覽ニ供ス之ヲ甲種ト稱ス乙種トシテハ各村ノ理髮店一箇所ヲ指定シテ閱覽所ト爲シ公衆ヲシテ少時間ヲ利用シテ閱覽セシムル爲卑近ナル小冊子ヲ收容シタル書庫ヲ遞次配置ス尙郡農會事務所ニ閱覽室ヲ設ケ自由ニ圖書ヲ閱覽シ得ルノ便ヲ開キ閱覽ヲ獎勵セルコト從來ノ如シ

私立小濱圖書館ハ小濱町教育會ノ施設ニ係リ小濱尋常高等小學校内ニ置カル本館及巡回ノ二方法ニ依リ閱覽セシム本館ニ於ケル閱覽人員ハ小學校教員兒童其ノ他地方青年者ニシテ巡回文庫ハ床屋湯屋旅館等十五箇所ヲ巡回シシメ專ラ實用ヲ旨トシテ閱覽セシメタルモ閱覽ノ人員閱覽圖書ノ種類別ハ調査シタルモノナシ

小學校教員養成

尋常小學校准教員養成所ヲ開キタルモノ三部ニシテ其ノ成績次ノ如シ

	生徒		修了者		證明書附與	
	男	女	男	女	男	女
坂井郡	18	21	16	21	2	—
丹生郡	22	15	19	13	3	2
大飯郡	13	8	13	8	—	—

教育會

各郡市ニ私立各郡市教育會ヲ設ケ其ノ數十二アリ會員一萬有餘人ニ上リ私立福井縣教育會ハ郡市教育會ノ聯合組織ニシテ別ニ會員ヲ有セス又市ニハ學區毎ニ私立教育會ヲ組織シ町村ニ於テハ私立町村教育會ヲ設ケルモノ多ク會員數萬人ヲ算スヘシ此等教育會ノ事業トシテハ教育ニ關スル研究調査小學校教員ノ講習教育學術ニ關スル講話學齡兒童ノ保護就學ノ獎勵學事視察圖書館及通俗博物館ノ經營機關雜誌ノ發刊ヲ爲ス等教育上ニ裨益スル所尠ナカラス殊ニ福井縣教育會ハ大正二年以來訓育會舎ヲ設ケ盲人教育ヲ施シ居レリ

又運動趣味ヲ普及シ體育尊重ノ精神ヲ振興セシメ體力氣力ヲ増進セシムルノ目的ヲ以テ若越體育大會ヲ開キタリ其ノ陸上部ハ十一月三日福井市公開運動場ニ於テ之ヲ催シ競技者二千人ニ上リ水上部ハ八月三日敦賀湖内ニ於テ之ヲ催シ競技者五百人ニ達シタリ

又縣視學及小學校教員七人ヲ九月二十八日ヨリ十月二十日迄浦蘆滿鮮方面ノ視察ヲ爲サシメタリ

青年團

青年團ハ縣下各市町村ニ於テ組織セラレ其ノ一市町村内數部ニ分レタルモノハ之ヲ一市町村ニ統一シ更ニ各町村青年團體ヲ聯合シテ郡青年團體ヲ組織ス青年團體ノ事業トシテハ時々講話會講習會ヲ開キテ修養ヲ圖リ或ハ補習教育ヲ受ケ擊劍競技視察旅行等ヲ行ヒ體育ヲ進メ常識ヲ發達セシメ又ハ共同耕作 植樹 道路修繕 夜警ニ從事スル等實業的公共的事業ヲ務メ若ハ援助シ其ノ他成績佳良ノ青年ヲ表彰シ風紀ヲ改善スル等漸次進歩ノ狀アリ

縣會郡會及市町村會

縣會郡會及市町村會何レモ教育費等學事ニ關スル議事ニ就テハ不當ノ決議ヲ爲スコトナク概シテ平穩ナリ

學事關係職員及學事視察

本縣學事關係職員ハ視學官(教育課長)一人縣視學二人(外ニ屬ヨリ兼務一人)屬二人雇二人學校衛生主事一人同雇一人アリ郡役所ニ在リテハ郡視學一人教育事務ノ課長ヲ兼ネ其ノ課員ニハ郡書記又ハ雇ノ内一人若ハ二人ヲ置キ市役所ニハ市書記一人市書記補一人町村役場ニハ書記一人若ハ二人ヲ置キ事務ヲ處理ス尙市町村ニ於テハ區長及學務委員ヲシテ事務ヲ補助セシムルコト從來ニ同シ

學事統計事務ハ一般統計事務擔任ノ屬ヲシテ分掌セシムルコト十數年ニ及ヒ近來郡役所ニ在リテモ一般統計事務擔任者ニ於テ處理スルモノ漸ク多キヲ見ルニ至レリ

內務部長及視學官ハ特ニ學校ヲ視察シ或ハ他ノ用務ノ傍ヲ巡視シ又ハ郡市教育會等ニ臨席シテ教育ノ發達指導ニ勉ムル所アリ縣視學ハ縣内小學校等ヲ巡視スルコト延日數百二十日ニ及ヒ其ノ他通俗講話會等ニ出張シタルコト若干アリ

學校衛生主事ハ時々各學校ヲ視察シ衛生ニ關スル注意ヲ爲シ又職員生徒兒童等ノ身體檢査ヲ行ヒタリ其ノ學校視察及教員健康診斷生徒身體檢査ノ爲出張シタルモノ九十七回醫會衛生講話等ノ爲出張シタルコト二十四回ナリ

學事獎勵

郡市立中等教育等學校及縣教育會等ニハ本縣ヨリ補助金ヲ交附シ小學校教員住宅建設ニ對シテモ相當補助金ヲ與ヘテ獎勵セルコト從來ノ如クナルカ本年度ニ於テハ更ニ實業補習學校ニモ相當ノ條件ヲ具備スルモノニハ是亦縣補助金ヲ交附セリ師範學校中學校高等女學校實業學校小學校等ニ於テハ其ノ生徒兒童中學術優等品行方正及精勤ノ者ニ賞與ヲ行ヒ又ハ製作生産品ノ品評會展覽會ヲ開キ或ハ貧困兒童ニ金品ヲ支給シ其ノ他青年會等ニモ郡市町村ヨリ相當ノ補助ヲ爲シ通俗教育社會教育ノ發達ヲ圖リタリ

將來學事施設上須要ノ件

將來學事ニ關シ施設ヲ要スルモノ尠ナカラスト雖中ニ就テ最須要ト認ムヘキモノヲ掲ケンハ次ノ如シ

1. 高等小學校ノ増設ヲ獎勵スルコト
1. 農業及理科ノ學習ニ關スル設備完成ノコト
1. 體育ヲ徹底セシムルコト
1. 教育參考館ヲ設置スルコト

公學費

大正七年度本縣及郡市町村公學費ノ概概ヲ敘述スレハ次ノ如シ縣公學費總額ハ四拾壹萬七千四百七拾五圓ニシテ經常費貳拾八萬八千八百八拾九圓臨時費貳萬九千貳百八拾六圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費八萬二千四百五拾七圓臨時費五萬七千七百七拾七圓ヲ増シタリ是レ敦賀町立商業學校ヲ縣立ニ移シタルト各校職員ノ待遇ヲ厚クシ設備ノ充實ヲ圖リタル結果ナルハ勿論ナリト雖近來物價暴騰ニ基因スルハ亦言ヲ俟タサル所ナリ尙前記總額ノ外小學校教員加俸及恩給ニ關スル支出額ヲ掲ケンハ次ノ如シ

年功加俸	金四萬六千七百七拾五圓五拾錢
特別加俸	金六千九拾八圓
小學校教員住宅補助	金九百七拾貳圓
退職料	金參萬千七百四拾貳圓參拾七錢
扶助料	金千八百拾九圓四拾九錢
扶助金	金千參百六拾圓五拾錢
退職給與金	金貳千六百六圓七拾五錢
計	金九萬四千四百七拾四圓六拾壹錢

縣公學ニ關スル收入總額ハ拾四萬五千六百七拾壹圓ニシテ經常收入七萬九千九拾四圓臨時收入五萬六千圓基本財産トシテノ收入壹萬九千六百六拾七圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常收入貳萬參百六拾五圓臨時收入四萬五千七百五拾圓ヲ増シ基本財産トシテノ收入六千六百八圓ヲ減シタリ是レ基本財産ヨリ生スル收入及國庫補助ニ於テ減シタルモ授業料寄附金及雜收入ニ於テ増シタルニ由ル尙前記總收入ノ外小學校教員加俸資金及小學校教員恩給ニ關スル收入額ヲ掲ケンハ次ノ如シ

加俸資金收入	金貳萬七千貳百四拾參圓參拾九錢
國庫補助	金貳萬七千貳百四拾參圓參拾九錢

資金ヨリ生スル收入	金貳千九拾參圓四拾參錢
恩給ニ關スル收入	
市町村納金	金四千八百八拾壹圓六拾四錢
恩給基金利子	金貳千八百八拾六圓六拾七錢
國庫給與金	金貳千八拾八圓七錢

郡公學費總額ハ六萬貳千六百六拾八圓ニシテ經常費參萬參千七百七拾九圓臨時費貳萬八千九百八拾九圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常費壹萬七拾五圓臨時費壹萬七千七百七拾四圓ヲ増シタルハ坂井郡立農學校舎ノ新築ト物價騰貴ニ基因ス

郡公學ニ屬スル收入總額ハ壹萬貳千四百貳拾圓ニシテ經常收入五千四百貳拾圓臨時收入七千七百圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常七百九圓臨時參百圓ヲ増シタルハ寄附金ノ收入ナキモ授業料雜收入縣補助ニ於テ何レモ増收入アリタルニ由ル

市公學費總額ハ拾五萬五百五拾九圓ニシテ經常費八萬六千五百七拾九圓臨時費六萬參千九百八拾圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常壹萬九千貳百參拾五圓臨時六萬參千四百拾貳圓ヲ増シタルハ校舍ノ改築ト物價騰貴トニ基因ス

市公學ニ屬スル收入總額ハ參萬四千四百參拾四圓ニシテ前年ニ比シ壹萬五千七百七拾六圓ヲ増シタルハ義務教育費國庫交付金ノ收入アリタルト授業料其ノ他ニ於テ多少ノ收入ヲ増シタルニ由ル

町村公學費總額ハ九拾六萬七千五百九圓ニシテ經常費八拾參萬九千五百五拾九圓臨時費拾貳萬七千九百六拾圓ナリ之ヲ前年ニ比スルニ經常貳拾萬參千五百貳拾五圓臨時參萬參千八百貳拾八圓ヲ増シタルハ主トシテ物價騰貴ノ影響ナリトス

町村公學ニ屬スル收入ハ拾九萬四千八百七拾七圓ニシテ前年ニ比シ拾參萬五千五百參拾四圓ヲ増シタルハ主トシテ義務教育費國庫交付金ノ收入アリタルニ由ル

公 學 資 産

本年度末公學資産ハ前年度末ニ比シ多少増加セリ今其ノ現況ヲ叙述スレハ次ノ如シ

縣公學資産ハ土地五萬八千四百三十一坪建物一萬三千九百九坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額七拾九萬貳千五百拾圓(外ニ橋梁價參百拾參圓)ニ上リ前年ニ比シ價額拾壹萬五千八百七拾參圓ヲ増シタルモ建物ニ於テ坪數若干ヲ減シタルハ坂井中學校舎燒失シタルニ由ル

縣公學基本財産ハ現在金拾參萬貳千參百九拾五圓ニシテ外ニ本縣々費ニ繰入中四萬九千六百貳拾七圓模範林費ニ繰入中五萬千四百拾圓ニ及フヲ以テ總計貳拾參萬參千六百拾貳圓ニ上リ前年ニ比シ壹萬九千四百五拾七圓ノ増加ナリトス

郡公學資産ハ土地六千九百貳拾四坪建物二千七十五坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ七萬五千七百四拾壹圓ニ上リ前年ニ比シ價額壹萬參千貳百四拾七圓ヲ増シタリ但シ未タ基本財産ヲ有スルニ至ラス

市公學資産ハ土地一萬七百十二坪建物七千六百六十一坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳拾七萬九千八百參拾八圓ニ上リ前年ニ比シ價額參千參百八拾五圓ヲ増シタリ

市公學基本財産ハ現在金六千四百拾壹圓ニシテ前年ニ比シ參百九拾參圓ヲ増シタリ

町村公學資産ハ土地十三萬四千九百八十四坪建物八萬三千五百三十三坪ニシテ其ノ他ノ物品ヲ合算スルトキハ價額貳百九拾七萬參千四百參拾四圓ニ上リ前年ニ比シ四拾八萬四千六百五拾參圓ヲ増シタリ

町村公學基本財産ハ現在金拾六萬參千八拾七圓土地其ノ他ノ價額九萬六千六百六拾七圓アリ前年ニ比シ金四萬九千九百貳拾八圓其ノ他ノ價額參萬貳千八百八拾六圓ヲ増シタリ又積立金貳萬八千五百五拾壹圓アリ前年ニ比シ壹萬參百參拾五圓ノ多額ナリトス學校基本財産蓄積ノ方法ハ縣立學校ニ在リテハ師範學校中學校高等女學校ハ明治三十六年度以後五十年間實業學校ハ明治四十一年度以後四十五年間授業料其ノ他ノ收入ヲ之ニ充テ本年度ニ於テハ次ノ收入ヲ蓄積シタリ

授業料、手数料	收入ノ十分ノ一
生產品製作物	收入ノ十分ノ三
不用品賣却代、學費償還、基本財産利子、基本財産ヨリ生スル收入ノ全部	

其ノ他市町村立各學校ニ在リテハ經費ノ殘餘寄附金等ヲ以テ基本財産ヲ蓄積シ又學校林等ヲ増設シ基本財産ニ編入スルコト從來ニ異ナラス

學校維持ノ方法ハ主トシテ縣稅市町村稅ニ依リ其ノ他國庫補助及授業料寄附金雜收入等ヲ以テ之ヲ補フコト亦從前ノ如クナリ

教 育 資 金

本年度收入ハ資金利子參千六百五拾貳圓六拾四錢貸附金返還壹萬五千四百拾四圓六拾四錢國庫下附參千六百五拾五圓五拾四錢前年度繰越金五千四百圓六拾七錢貳圓ニシテ壹萬七千七百圓ヲ小學校建築費ニ充ツル爲メ町村ニ貸附シ參千貳百四拾九圓ヲ小學校教員十五人ノ疾病療治料トシテ支給シ貳千貳百五圓ヲ學事獎勵ノ爲メ支出シタル其ノ學事獎勵支出ノ細別次ノ如シ

金參百圓	盲人教育獎勵交付
金參百圓	仁愛女學校ニ交付
金百圓	盟啞學校ニ交付
金參百圓	小學校教員四人表彰
金百圓	僻陋地小學校一校ニ交付
金百五拾圓	教育雜誌編輯部ニ交付
金參拾圓	就學獎勵交付一町一村
金六百七拾五圓	學齡兒童保護團四十二團體ニ交付
金貳百五拾圓	通俗教育費

市町村立小學校教員加俸資金

年功加俸ハ教員中成績佳良ナル者ヲ選ヒ隨時ニ之ヲ給與シ又特別加俸ハ加俸令第七條第一項若ハ第四項ノ場合ノ事實ノ發生シタル時直ニ同第二項第三項該當ノモノハ成績佳良ノ者ニ之ヲ給與シタリ

市町村立小學校教員住宅費

市町村立小學校教員住宅費補助ハ從來ト同シク住宅建築費ノ總額ニ對シ其ノ十分ノ四ヲ交付セリ本年度ニ於テ補助シタルモノ次ノ如シ

補助金額	學校名	住宅
金貳百拾九圓	足羽郡下文殊尋常高等小學校	1
金貳百六拾壹圓	坂井郡瀧尋常高等小學校	1

金百六拾七圓	坂井郡大石尋常小學校	1
金百參拾四圓	三方郡田井尋常高等小學校海山分教場	1
金百九拾壹圓	遠敷郡遠敷尋常高等小學校	1

義務教育費國庫交付金

市町村ニ於ケル義務教育費國庫交付金ノ收入ハ拾參萬百四圓ニシテ其ノ支途ヲ區別スレハ次ノ如シ

市 金八千八百八拾貳圓 教員増俸ニ充ツ

町村 金拾貳萬千貳百貳拾貳圓
 内 金拾壹萬貳百參拾九圓 教員増俸ニ充ツ
 金五千九百拾九圓 教育施設ノ改善ニ充ツ
 金五千六拾四圓 住民負擔ノ軽減ニ充ツ

斯クノ如ク國庫交付金ノ大部分ハ教員増俸ニ充テタリト雖全額拾參萬百四圓ハ間接ニ於テハ悉ク住民負擔ノ軽減ヲ來シタルモノナリト謂フヲ得ヘキカ

大正九年三月三十日印刷

大正九年十一月二十五日發行

福 井 縣

石川縣金澤市殿町九番地

印刷者 宇野孝太郎

石川縣金澤市殿町九番地

印刷所 活文堂

